

東京DMAT指定病院の新規指定 に向けた準備について（案）

東京DMAT指定病院の新規指定に向けた準備について（案）

1 新たな東京DMAT指定病院数の拡充方針について

令和5年3月27日開催の東京DMAT運営協議会で承認されており、「全ての三次救急医療機関を東京DMAT指定病院とする。」拡充方針に則って選定する。

救命救急センターの指定要件は、複数の診療科目にわたる高度な医療処置を施すことができる医師、看護師等を24時間体制で相当数配置することが求められているため、東京DMAT出場時においても高度な救命処置を施しつつ、通常の救急医療体制も確保することができる。

2 新たな候補先の選定方法について

都内の救命救急センター未指定病院は次の3病院であり「東京都済生会中央病院」、「東京大学医学部附属病院」、「東京慈恵会医科大学附属病院」の3病院（いずれも区中央部に所在する災害拠点病院である）

候補先の選定にあっては、病院の所在地や救急医療体制、及び指定にあたっての意向を鑑み判断する。

病院名	救急医療体制												
	R5 専従医師数	R5 救急科専門医数	搬送件数(都内消防)						収容可能回答率				
			R1	R2	R3	R4	R5	R1から R5の 合計	R1	R2	R3	R4	R5
東京都済生会中央病院 (港区)	15	6	589	505	618	697	563	2972	82.6%	75.5%	42.6%	28.2%	44.2%
東京大学医学部附属病院 (文京区)	18	8	640	731	938	873	870	4052	79.9%	53.3%	35.6%	17.7%	28.3%
東京慈恵会医科大学付属病院 (港区)	15	6	—	—	—	112	276	388	—	—	—	29.3%	22.8%

東京DMAT指定病院の新規指定に向けた準備について（案）

地域性について

- 1) 港区に東京DMAT指定病院は配置されておらず、文京区には既に2病院指定されている。
- 2) 新たに港区に配置されれば、これまで出動してきた東京都立広尾病院や日赤医療センター、聖路加国際病院より早く現場到着できる。
- 3) 港区周辺（千代田区、中央区、品川区、大田区）への出場も期待できる。

②－2) 東京DMATの港区への出場状況

期間	件数	出場病院	覚知から現着までの所要時間
令和4年4月から令和5年3月まで	9	広尾病院、聖路加国際病院	約24分
令和5年4月から令和6年2月まで	10	広尾病院、日赤医療センター、聖路加国際病院	約24分

⇒港区に東京DMAT指定病院が配置されれば、**現着までの所要時間の短縮化**を期待できる。

②－3) 港区近接区（千代田区、中央区、品川区、大田区）の出場実績

期間	件数	出場病院
令和4年4月から令和5年3月まで	63	広尾病院、聖路加国際病院
令和5年4月から令和6年2月まで	99	広尾病院、日赤医療センター、聖路加国際病院

⇒港区近接区の東京DMAT出場要請は一定数あるため、**港区近接区**への出場も期待できる。

東京DMAT指定病院の新規指定に向けた準備について（案）

- 1) 指定病院がない港区のみならず、港区周辺（千代田区・中央区・品川区・大田区）への出場も見込め、病院の救急医療体制が整っている、東京都済生会中央病院を令和6年度の新規指定候補とする。
- 2) 東京都済生会中央病院の指定については、本年度の隊員養成研修を受講した上で、養成研修の受講結果及び院内での体制整備の状況等を踏まえ決定する。

令和6年度 新規指定候補	救急医療体制	地域性	東京消防庁連携隊 の協力	比較結果 その他
東京都済生会中 中央病院	令和5年12月末現在 専従医師数12人 救急科専門医数6人 R1からR5までの三次 救急搬送件数 2,972件	港区に初めてDMAT指定病院 が指定されることで他地域の 病院の負担が減り、現着まで の所要時間も短縮化する。 港区周辺（中央区や品川区な ど）への出場も期待できる。	連携隊の指定先 第一方面 芝消防署 これまでに連携隊の指 定がない。	医師数は東大病院と ほぼ同数。 東京DMAT指定病院 となることについて 病院全体の強い意向 がある。
東大病院	令和5年12月末現在 専従医師数18人 救急科専門医数8人 R1からR5までの三次 救急搬送件数 4,052件	同じ文京区内にはすでに日本医 科大学付属病院と東京医科歯科 大学が指定されておりDMAT指 定病院は潤沢している。 港区周辺（中央区や品川区な ど）への出場にはやや遠い。	連携隊の指定先 第五方面 本郷消防署 日本医科大学付属病院 と重複している。	医師数は済生会中央 病院とほぼ同数
慈恵医大	救命救急センターの指定がされて日 が浅く実績をまだ積み上げている段 階である。 (※指定日は令和5年3月20日)	—	—	—

東京DMAT指定病院の指定状況

平成16年8月2日（7病院）		
日本医科大学付属病院	帝京大学医学部附属病院	杏林大学医学部付属病院
国立病院機構災害医療センター	都立墨東病院	都立広尾病院
都立多摩総合医療センター		
平成17年9月16日（6病院）		
昭和大学病院	東京医科大学八王子医療センター	東京医科大学病院
青梅市立総合病院	東京女子医科大学東医療センター	東京曳舟病院
平成19年3月12日（4病院）		
東邦大学医療センター大森病院	武蔵野赤十字病院	東海大学八王子病院
公立昭和病院		
平成22年3月19日（2病院）		
日本大学医学部附属板橋病院	東京女子医科大学病院	
平成22年8月20日（3病院）		
東京医科歯科大学医学部附属病院	国立病院機構東京医療センター	日本医科大学多摩永山病院
平成24年3月1日（3病院）		
日本大学病院	聖路加国際病院	日本赤十字社医療センター
令和5年2月28日（1病院）		
国立国際医療研究センター病院		
令和6年3月31日（1病院）		
順天堂大学医学部附属練馬病院		

令和6年3月現在
27病院

